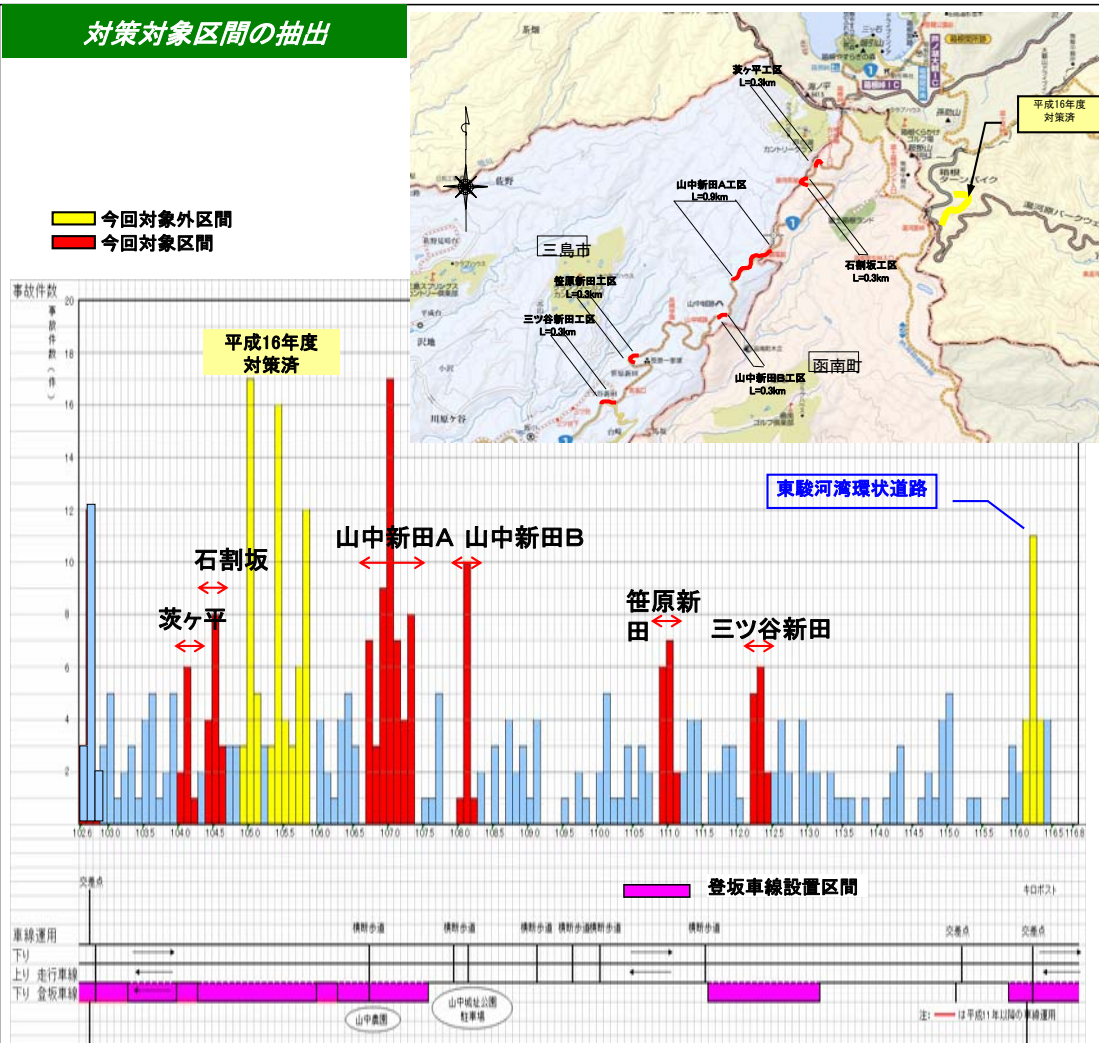
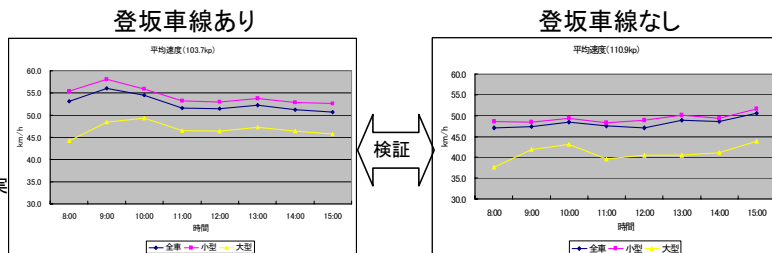


国道1号箱根峠～三島市三ツ谷新田の事故対(策参考資料①) 対策対象区間の抽出・事故対策(試験施工)とその評価

対策対象区間の抽出

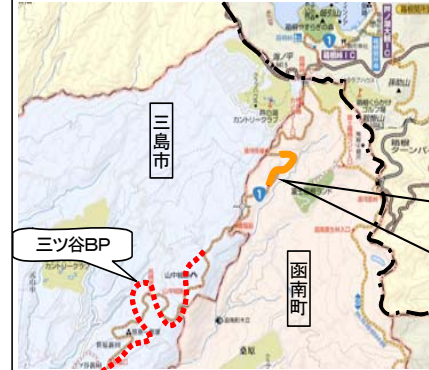


- ・上図に示すように、登坂車線設置区間において事故件数が多くみられる傾向がある。
- ・検証を行なった結果、登坂車線設置部では未設置区間よりも**走行速度が約4.5km/h高い**実態が確認できた。



事故対策(試験施工)とその評価

事故類型よりセンターをはみ出す事故割合が一番多くなっている。

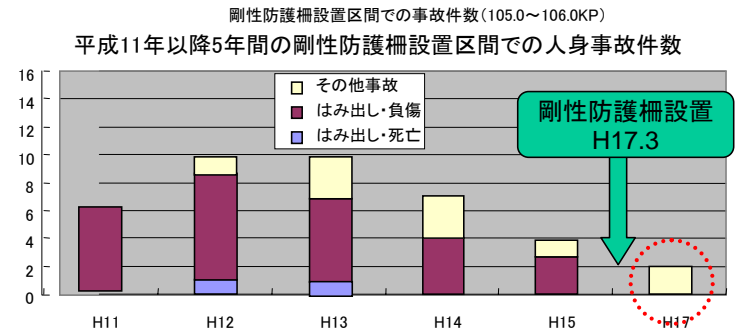


【対策】
 ・急カーブでの対向車線への逸脱防止を目的に、**中央分離帯への剛性防護柵**を試験施工 (L=330m) として実施した。



【事故対策の評価】

・平成11年以降の剛性防護柵設置区間における死傷事故件数を比較した場合、はみ出し事故・全事故とも大幅に削減する効果が得られた。



【対策効果】

はみ出し事故

H11~H15: 5.8件/年

H17: 0.0件/年

全事故

H11~H15: 7.4件/年

H17: 2.0件/年

はみ出し事故・全事故が大幅に削減!

剛性防護柵の事故削減効果を確認し、緊急事故対策を実施!